1 月 31 日は
愛妻の日

チューリップ

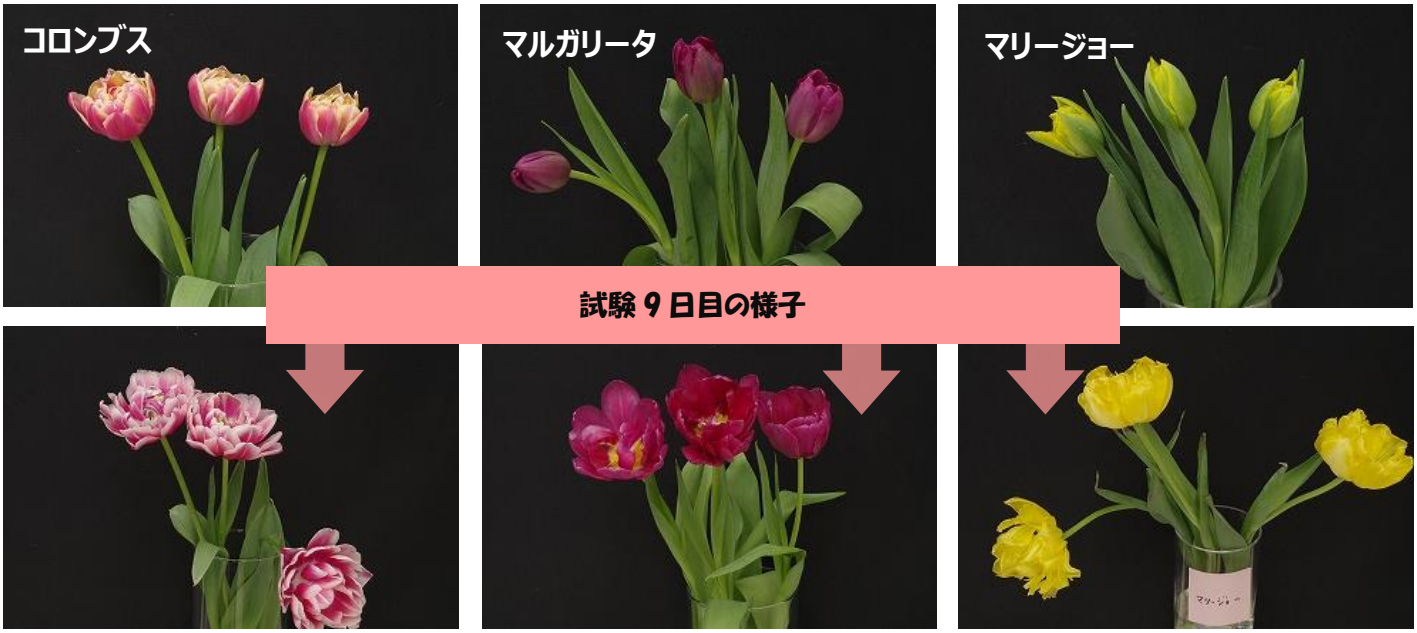
の日持ち試験行いました！

春の球根花として、子供から大人まで高い知名度のチューリップ☆彡
一重咲きから、八重咲き、フリンジ咲き、パロット咲き、ユリ咲きまでバラエティ豊かな咲き方に加え、
あまり知られていませんが芳香花としても楽しませてくれます☺
今回は 2~3 月に向けて出荷のピークを迎えるチューリップの日持ちを調査しました！

◆日持ち試験室条件◆
温度：22℃±1　湿度：60%（可能な限り）　照度：1000Lux
生け水：クリザールプロフェッショナル 2（後処理剤）
日長：明期 12 時間/暗期 12 時間

◆結果◆
今回の試験での日持ち結果は **10 日前後**でした。
試験 5 日目頃から葉の先端が褐変し始め、
試験 9 日目になると花弁も先端部から萎れ始め、退色も目立ち始めました。
また、品種間差や個体差はありますが茎が伸びたことで曲がりが発生しました。
（※現在、ほとんどの産地様において前処理剤を使用しています。前処理剤を使用することにより茎の伸びや葉の黄変を抑制する効果があります。また、後処理剤を併用することで日持ちもアップします。）

↘★チューリップは温度の影響を受けて、開いたり閉じたりを 4～5 日間繰り返します。だいたい 20℃前後の温度で開くとされていますので、適度な温度環境下で花弁が閉じたり開いたりする姿を楽しむのもいいですね↘★



株）大田花き
品質カイゼン室